

[報告]

一般社団法人・電気学会第 107 回通常総会において 江川隆輔准教授が第 75 回電気学術振興賞（進歩賞）を受賞

一般社団法人・電気学会第 107 回通常総会において、本センター・江川隆輔准教授らの研究グループが「第 75 回電気学術振興賞（進歩賞）」を受賞しました。

電気学術振興賞（進歩賞）は、電気に関する学術・技術において新規な概念・理論・材料・デバイス・システム・方法等を新たに提案あるいはこれらの提案を実証した者、および電気に関する製品・設備等を新たに完成または改良し、堅調な成果をあげた者に与えられる賞で、江川准教授らの研究グループは、名古屋工業大学・平田晃正教授らとの共同研究を通して、熱中症リスクを複合物理解析と温熱生理モデルを組み合わせた年代別等の人体モデルに基づき発汗量や体温上昇量など定量的なリスクを表現する技術の開発と、「熱中症セルフチェック」として日本気象協会が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトの Web サイトにて公開を通して、個人を考慮した熱中症リスクの評価を可能とした新規性、一般の方でも活用しやすい実用性が高く評価されたものです。

同准教授らが所属するスーパーコンピューティング研究部（大学院情報科学研究科・高性能計算論講座）では今後、計算科学を専門とする研究者の皆さまとスーパーコンピュータを活用、その成果を社会に還元できる共同研究を進めていきます。

受賞内容

- ・ 題 目 : 「大規模人体複合物理解析に基づく熱中症リスク管理システムの開発と実用化」
- ・ 対象者 : 平田晃正（名古屋工業大学）、江川隆輔（東北大学）、柏 達也（北見工業大学）、
Laakso, Ilkka（アールト大学）、堀江 祐圭（日本気象協会）

なお、賞の詳細については、下記 HP に掲載されております。

電気学会ページ

<https://www.iee.jp/blog/award2019/>

研究室ページ

<https://www.sc.cc.tohoku.ac.jp/1846.html>